

# 歴史の散歩道

(63)

## 石塚きい女・伊藤りへ女碑

この碑は無名の若い女性のもので、長山公園奥の高台に多くの顕彰碑や記念碑と並んで建てられている。この碑のことは、福井市出身の芥川賞作家津村節子の短編集『霧棲む里』の中に、「織姫」の素材となっていること知られる。

二人の女性は、明治九年（一八七六）旧城址三の丸に設立されていた「勝山製糸会社（通称三の丸製糸）」の織工の募集に応じて、はるばる長野県からやってきた当時十七歳のうら若き少女であった。この工場は同二十年当時、水車を動力とする百台の織機を持ち、男女織工二百四十人が働く全国有数の製糸会社であり、広く織工を募集していたようで、彼女らは同二十一年に入社した。しかし、不慣れな土地で工場生活は厳しく、不幸にして肺結核に罹り、二十四年に不帰の客となった。

碑文によると「其病に罹るや共に重患、遂に膏盲（治る見込みがない）に入り、自ら起す可からざるを知る。主治医其情を察し、説くに遺体解剖の事を以てす。二女神色自若（態度少しも変わらず）、曰く是妾等の請わんと欲する所なり」とあり、いまわの際に、



長山公園内に建つ石碑

医師のすすめに応じて医学の研究のために献体を承諾したのである。石塚きいの遺体は高沢彰医師たちにより解剖に付され、骨骸も標本として残された（伊藤りへの遺体はその後生地に引き取られた）。同四十一年七月、勝山医師組合（組長秦勤有）によって記念の碑がここに設立された。撰（文作成）は川地由良、書は長谷川伝蔵である。ちなみに、勝山における人体解剖は安政六年（一八五九）四月に秦勤有によって行われており（県下初）、それに次ぐ貴重なものであった。

なお、昭和三十八年十一月一日、勝山の産業功労者として、また西洋医学発展に貢献したとして、その慰霊供養が行われている。主催者は山内市長、勝山商工会議所、勝山医師会、勝山織物組合ほか数団体である。

勝山市文化財保護委員 増田公輔



### 編集後記

▶3月は三寒四温を繰り返し、一歩ずつ春に近づきます。そして、日が長くなり、これまでの厳しかった風もやわらかく感じます。また、春一番が吹き始めると、空気が雪の匂いから土の匂いに変わります。冬の間あまり聞かれなかった鳥のさえずりも庭から聞こえてくると、のどかさの中に永かった冬から開放された安堵感に浸ります。▶今年の左義長は、初日の好天とは裏腹に、2日目はあいにくの雨でしたが、それでも人出が絶えず、2日間で8万5千人。例年の約6万人からみても、如何に賑わったかが分かります。ただ、写真撮影にはうらめしい雨でした。



### 火災発生

☎88-5100（テープ吹き込み）



### 休日・祝日救急当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

3/19 (日)	わかばやしこども内科クリニック ☎88-2415
3/21 (火)	佐々木胃腸科外科医院 ☎87-2616
3/26 (日)	木下医院 ☎87-3333
4/2 (日)	竹下中央内科医院 ☎88-1121
4/9 (日)	河北小児科医院 ☎88-1234
4/16 (日)	福井社会保険病院 ☎88-0350

☎消防署(☎88-0400)



### 交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成18年2月末	前年比
総件数	142件	36
人身事故 (うち高齢者)	26件 (5)	15 (4)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	-1 (0)
傷者	32人	11
物損事故	116件	21



### 3月の納税

今月の納税はありません



### 人口の動き

	1月末現在	自然動態		社会動態		2月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,222人	6	-19	42	-18	13,233人	11
女	14,529人	7	-11	40	-24	14,541人	12
合計	27,751人	13	-30	82	-42	27,774人	23
世帯数	8,122世帯					8,116世帯	-6

毎月第3日曜は

### 家庭の日

子どもの成長を祝い みんなの夢を育てよう